平成27年度関東高等学校女子バスケットボール大会 第69回関東高等学校女子バスケットボール選手権大会

平成27年6月6日(土)	Aブロック		1回戦		富士	北麓公園体育館 E	В⊐−ト	
チームA 県立旭高等学校 (神奈川)	50	10 10 15 15	1st 2nd 3rd 4th	17 20 17 12	66	チーム 東京成徳大学高等学校 ^(東京都)		

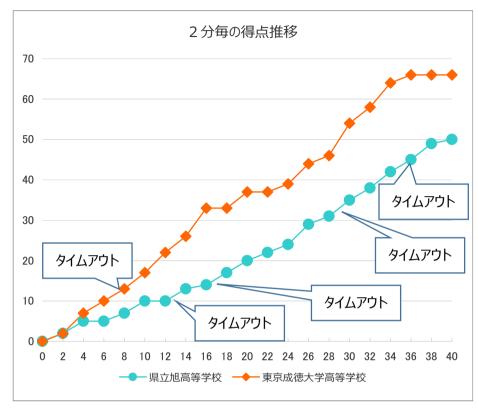
Aチーム: 県立旭高等学校

No.	S	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			то
INO.	3	以石	PIS	М	Α	М	Α	М	Α	Г	OR	DR	TOT	10
4	*	角田 愛珠	6	0	1	1	3	4	6	1	2	5	7	3
5		小泉 ひなた	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
6		林 礼未												
7	*	楠本 唯奈	7	0	0	2	4	3	3	3	5	12	17	3
8	*	熊谷 日毬	7	0	5	2	6	3	4	4	0	4	4	10
9		菊地 真琴	6	0	0	2	5	2	3	0	1	3	4	1
10		滝浦 真琴												
11	*	安彦 かすみ	3	1	6	0	2	0	0	0	1	2	3	3
12		富樫 ひなた												
13		岩切 美笑	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	*	片野 真里亜	18	6	15	0	3	0	0	2	1	3	4	1
15		澁谷 優里												
16		高橋 里穂												
17		浜屋 菜奈	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
18		平野 彩音	3	0	0	1	1	1	1	2	0	1	1	4
HC/TE	MA	講武達雄												
		合計	50	7	28	8	25	13	19	12	10	30	40	26

Bチーム: 東京成徳大学高等学校

No.	No. S 氏名		PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			то
INO.	٦	104	113	М	Α	М	Α	М	Α	'	OR	DR	TOT	10
4		巻島 千夏	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0
5		沼田 稚菜	1	0	0	0	2	1	2	1	0	1	1	0
6	*	松本 まさみ	9	0	0	4	11	1	1	1	1	4	5	1
7	*	大原 咲織	0	0	0	0	8	0	0	3	2	3	5	2
8		澤田 萌	8	2	4	2	4	0	0	3	1	2	3	2
9		青菅 芙汰巴	13	0	0	5	11	1	2	2	2	1	3	0
10		渡辺 真央	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0
11		五老 アミナ	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0
12	*	小沼 康乃	2	0	3	1	5	0	0	0	1	0	1	0
13		木村 亜美	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
14	*	植松 莉佳	9	0	0	4	7	1	2	0	2	5	7	1
15	*	神崎 璃生	5	1	1	1	1	0	0	0	0	2	2	2
16		濱西 七海	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17		坂牧 祐里	2	0	1	1	1	0	0	2	0	3	3	0
18		清水 智央	17	0	0	8	16	1	2	1	4	6	10	1
HC/TE	AM	遠香 周平												
		合計	66	3	13	26	68	5	9	16	14	27	41	10

第3試合



戦評 記載者: 横内 裕三 (山梨県高体連)

1 Q:お互いオールコートマンツーマンでスタート。互いに激しいディフェンスの中シュートを決めきれない時間帯が続く。旭は外角から、成徳はインサイドを中心に攻撃を展開。旭は 1 Q終了間際にオールコートプレス対してターンオーバーが続き、それを確実に得点し 1 7 - 1 0 成徳リードで終了。

2 Q: 旭は成徳のプレスにミスが続き、残り7分でタイムアウト。だが流れは変わらず開始から4分間得点できない状態が続く。その間に成徳はインサイドで着実に得点を重ねる。3 1 – 1 3。残り3分旭タイムアウト後に倒の3 Pで反撃を試みるが成徳の激しいディフェンスに流れを掴めない。成徳は終了間際ブザービーターを沈め3 7 – 2 0 成徳リードで折り返す。

3 Q:立ち上がり旭はレイアップやブレイクで得点を重ね流れを掴もうとする。しかし成徳は⑨の連続ポイントやオフェンスリバウンドなどで流れを変えさせない。残り2分、旭はタイムアウト後ディフェンスをゾーンに変えるが、成徳⑧の3 Pをはじめとする外角からのシュートで差を広げていく。5 4 - 3 5 成徳リードで終了。

4 Q: 旭はオールコートマンツーマンで追い上げを図るが、成徳は冷静にゲームをコントロールしリズムを崩すことなく、66-50成徳が勝利を収めた。

主審	副審							
渡邊 整(本部)	原 誠(山梨県)							